

がん治療用ウイルス G47Δ 製剤の製造能力増強投資を決定 ～約 120 億円の戦略投資により、今後の需要増に対応～

デンカ株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長：今井 俊夫）は、注力事業の 1 つと位置付けているがん治療用ウイルス G47Δ の事業基盤の強化と将来を見据えた供給力増強を目的として、約 120 億円の戦略投資を決定しました。

がん治療用ウイルス G47Δ 製剤は、2021 年 6 月、悪性神経膠腫(*)を対象とする再生医療等製品として、厚生労働省より条件及び期限付承認に該当する製造販売承認を受けており、当社が本品を製造しています。

本品は生きたウイルスそのものを製剤化したもので、製造には大規模なウイルス培養技術や特殊な試験技術が必要であり、長年に亘り、ウイルス感染症に対するワクチンと検査試薬の開発・製造を行ってきた当社の技術・ノウハウが活かされています。

本投資は、ヘルスケア分野の中核拠点である五泉事業所（新潟県五泉市）に新たな製造施設を設置するためのものであり、当社は、本品の製造工程開発で得た経験と実績をもとに、本施設並びに従来施設を活用して、ウイルス製剤を中心に、医薬品の治験薬や製品等を対象とする製造開発受託企業としてのプレゼンス確立・発展にも積極的に取り組んでまいります。

当社は 2023～2030 年度の 8 カ年を対象とした経営計画「Mission 2030」において、ヘルスケア分野では 800 億円の戦略投資枠を定めており、今回の投資は其中でも中核の 1 つと位置付けて実行いたします。

デンカはこれからも、「化学の力で世界をよりよくするスペシャリストになる」というパーパスのもと、世界に誇れる化学で、人々の暮らしと社会に貢献し続けます。

以上

【投資概要】

- ・投資拠点：五泉事業所新潟工場（新潟県五泉市）
- ・投資金額：約 120 億円（見込）
- ・主な内容：製造設備の増強、既存製造棟建屋の改修
- ・竣工時期：第 1 段階：2025 年度末（予定）、第 2 段階：2027 年度下期（予定）

※本件による 2023 年度当社連結業績への影響は軽微です。

【参考：五泉事業所（鏡田工場・新潟工場）概要】

- ・ 鏡田工場：新潟県五泉市木越字鏡田 1359-1
- ・ 新潟工場：新潟県五泉市南本町 1-2-2
- ・ 製造品目：抗原検査キット（新型コロナウイルス、インフルエンザウイルス、RS ウイルス等）
免疫血清検査試薬、臨床化学検査試薬、細菌検査試薬、ウイルス検査試薬など
インフルエンザワクチン、破傷風トキソイド、がん治療用ウイルス製剤
- ・ 従業員数：約 850 名（五泉事業所全体計）

(*）悪性神経膠腫とは

神経細胞の支持組織であるグリア細胞から発生する原発性脳腫瘍である神経膠腫のうち、悪性度が高い脳腫瘍の一種で、悪性度が高いグレードⅢ・Ⅳに分類され、日本国内の新規罹患者数は年間 2,800 人程度と推定されています。

【報道関係者からのお問い合わせ先】

コーポレートコミュニケーション部 電話：03-5290-5511

【医療関係者からのお問い合わせ先】

ライフイノベーション部門 ウイルス製剤部 電話：03-5290-5523